



医師会の先生方には地域医療研修などで大変お世話になりありがとうございます。お蔭様で、もうすぐ無事 1 年間または 2 年間の研修を終えます。そこで研修医にそれぞれに学んだことや気づいたことをのべてもらいました

※ たすきがけ研修とは？：当院採用の研修医は原則として 2 年間当院で研修しますが、大学病院（当院では京大、府立医大）採用の研修医が 1 年目か 2 年目の研修を当院で行うことをいいます。

2年目

井上 恵太

私は医師としての第一歩の 2 年間をこの大津市民病院にて過ごしてまいりました。この病院で仲間や色々な方々と出会い様々な事を教えていただきました。思い返せば、1 年目の 4 月は採血や点滴が取れず、夜に上の先生の腕を借り練習をさせていただいたことを今でも思い出します。その後は少しずつ普段の研修や当直にも慣れ、名前もようやく覚えていただけられるようになりましたが、気付けば研修生活も終わりに近づいてまいりました。本当にあっという間の 2 年間でした。

この病院で研修医生活を過ごすことができ本当に良かったと思います。これまで私を支えてくださった皆さまに本当に感謝しています。本当に今までありがとうございました。

立木 規与秀

2 年間の研修生活を振り返った時に、まず思い出される患者さまがいます。その方は、多量の胸水をきっかけに発見された膵癌でした。症状は急速に進行し、治療の甲斐なく数週間で亡くなりました。つい先日まで「しんどい」といいながらも、笑って話していた人が、自分の目の前であっという間に亡くなりました。それまでも何人か亡くなる方はいらっしゃいましたが、あまりの展開にしばらくは頭の整理がつきませんでした。人はこんなにも簡単に死んでしまうのかと衝撃を受けました。それ以降は、ここまでの急展開には出会っていません。しかし、これから救急医として研修を積んでいくにあたり、同様の、またはそれ以上の患者さまに対面するでしょう。そのような時に、この時の悔しさを忘れず、しっかりと踏ん張って取り組んでいきたいと思っています。

前田 英貴

大津市民病院での研修医生活がスタートしてから、はや 2 年が過ぎようとしています。1 年目の頃は、全てが初めてで当たり前のことを当たり前にできない自分に苛立ち、落ち込むことも多々ありました。ローテートしている科に少し慣れた頃に次の科のローテートが始まるような感覚の連続で、付いていくのがやっとなったと思います。研修医同士で採血や点滴、エコーの練習をしたり、上級医やスタッフの方々に迷惑をかけながらも多くのことを教えていただき、成長させてもらいました。お世話になり支えていただいた全ての方に感謝いたします。ありがとうございました。たった 2 年間でも臨床の様々な場面に遭遇し、非常に中身の濃い研修医生活を過ごすことができました。その一つ一つが、財産となり思い出となっています。

4 月からは当院の循環器内科で専攻医として働かせていただきます。当院での研修を生かし、少しでも大津市の医療の役に立てるよう頑張っていく所存です。何卒よろしく願いいたします。

諏訪 兼敏

2年目研修医の諏訪と申します。京都府立医科大学の臨床研修プログラムにより、たすきがけで1年間この病院に来させてもらい大変良い経験をさせていただきました。前々よりこの病院の評判は伺っていましたが実際に研修させていただくと、先生方はじめ多くのスタッフの方々の温かさを感じることができ、また診療科間のコンサルテーション時の垣根の低さを実感しました。研修内容としても大学病院ではなかなか経験できない症例をたくさん診ることができ、先生方からの熱心な指導により様々な知識やスキルを獲得できたと感じています。あっという間に1年が終わろうとしており少しさびしい気持ちもありますが、大津市民病院で得たものを踏まえ今後につなげていきたいと思えます。

布施 恵子

私は2年間大津市民病院で臨床研修をさせていただき、心から満足しています。上級医の先生方のみならずコメディカルの方々にも様々な指導をしていただき、大変感謝しております。私は実に多くの科をローテートしたので、浅くはありますが進路と異なる分野も含め幅広く経験することができました。当院では各科・職種間の垣根が低く、特にICUやERでは複数の科が協力しあう症例も多く医療の真髄に触れられたと思っております。また、立地条件もよいので、夕方からの院外の勉強会にも多数参加できました。

今後も多くの研修医が当院で育ってほしいと思えます。

私自身は来年度も当院内科（糖尿病・内分泌）に残ります。今後ともよろしく願いいたします。

1年目

喜多 昭介

大津市民病院で医師としての最初の一步を踏み出してからはや1年が経とうとしています。国家試験に合格したばかりで日々の仕事が見るものばかりでなんでもないことに大慌てをする毎日ですが、豊富な知識と経験をもっておられる指導医の先生からはもちろん、看護師さんや検査技師さんなど、とても多くの方々からいろんなことを教えていただいて、なんとか研修できています。まだまだ未熟な身ですが、何も知らない分新しく経験することはすべて勉強であると考えて、これからも多くのことを学び、1日も早く皆様、そしてなにより患者さまのお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますので、何卒よろしく願いいたします。

城田 あゆみ

私が医師になり、1年が経とうとしています。たくさんの方々を支えられて大津市民病院で1年間を過ごすことができ、皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。

私の研修はER/ICUから始まりました。まず薬の名前もわからない状態でICUに飛び込み、右往左往する毎日でした。1年を終えようとしている今、それでもわからないことばかりで奮闘している毎日ですが、1年前の自分よりは確実に成長したと感じています。優秀な指導医の先生方や先輩方がいつも熱心に、時に厳しく指導してくださいました。周りの医療者の方々にも各分野の専門知識を教わりました。この病院では皆さまが研修医に温かく、「皆で育てる」気風がある素晴らしい環境だと感じています。今年は自分もさらに研鑽を積みながら、後輩にとっても良い研修環境を作っていけたらと思っています。今年もたくさんお世話になりますが、よろしく願いいたします。

辰島 正二郎

平成24年4月より京大病院研修プログラムの1年目たすきがけとして大津市民病院で1年間研修させていただきました。良い思い出ばかりが印象に残っていますが、4月にローテートした呼吸器外科で最初に担当した患者さまがご自身の病気について色々教えてくれたこと、1日1回質問するから勉強しておいでとってくれたことを今でも鮮明に覚えています。患者さまも優しい方ばかりで、おかげでなんとか最初の1年を乗り切ることが出来ました。

最後に、右も左もわからない私を熱心に指導していただいた上級医の先生方、看護師はじめコメディカルの皆さま、本当にありがとうございました。ここ大津での経験を活かして今後も頑張っていきたいと思えます。

滝本 とも子

大津市民病院で働きだして早くも1年が過ぎ、もう四季を通りすぎてしまったのかと驚いています。1年間研修医として働き、ようやく仕事にも慣れてきました、といたいところですが全くそんなことはなく、毎日不安を抱えながらの生活です。

それでも研修生活には満足しており、これまで麻酔科・呼吸器外科・産婦人科・救急・内科を研修してきましたが、どの科でも先生方や病棟の看護師の方々が親切に熱く指導してくださり、患者さまもとても気さくな方ばかりだったので将来の専門科選択に困るほどです。大津市民病院は研修医の修練の場としては環境が十分に整っている病院だと思うので、来年度も日々助け支えてくださる方々に感謝し、少しでも成長・貢献できるよう精進いたします。

森田 佳奈子

大津市民病院での研修も1年近くになりました。外科系から始まり、消化器内科、血液、循環器、呼吸器、腎臓、一般内科など幅広く効率的に研修ができ、指導医の先生方・看護師の方々に助けられながら、充実した研修生活を送ることができました。学生の時の病院実習と比べ患者さまと直接関わる機会も増え、自分の未熟さを日々感じておりますが、今後も初心を忘れずに日々成長していきたいと思っています。このような環境を与えてくださった大津市民病院の全ての職員の方々に感謝しております。

樋上 健介

研修医1年目の樋上（ひかみ）です。病院ではそれこそ学生実習以来の「ひよっこ」なので、楽しかったことや、つらかったことは臨床の妙味をかみしめる……までは残念ながら至らず、主に病院がどういったものを学ぶことからはじまりました。ですが、単純に自分のできることが増えることは嬉しく、躓くことが肉体的にはともかく、精神的には報われる分、つらいというほどではなかったです。多くの問題が医療技術の進歩だけでは解決できないとも思います。私個人の知識や経験の不足は明らかで精進あるのみですが、10、20年後に医師として社会貢献を行っていくためにはなにを行っていけばよいか日々考えています。

竹内 梨恵

私が大津市民病院で研修を始めてからもう1年が経とうとしています。私が大津市民病院を研修施設として選んだのは、診療科がバランスが取れており程よく地域に密着しており、医療の全体像を掴みやすいのではないかと考えたからでした。実際に研修してみると、まず社会人としての振舞い方からルート取りから何もかも思うようにできず、自分が非常に未熟であることを痛いほど感じました。周りの優秀な先生方と自分を比べて、はたしてあのように自分はなれるのか、医師に向いていないのではないかと自問自答する日々でした。そんな中でも信頼を寄せてくださる患者さまもおられ、激励してくださる上級医の先生方や仲間がいてとりあえず1年を過ごすことができました。「医者はゆっくり育つものだよ」との上の先生の言葉を胸に、焦らず努力を続けていこうと思っています。

伊東 美重

当院で研修医生活をスタートして、もう1年が経過しようとしています。初めは慣れない環境で不安に思うことが多く、今こうして楽しく有意義な研修をできている自分の姿を想像することはできませんでした。しかし、つらい時に励ましてくれる同期や、困った時に頼りになる2年目研修医の先輩の存在が、大きな支えとなりました。そして、どの科を回っても目標としたいすばらしい先生がおられ、熱心に指導していただき、研修前に抱いていたイメージが全く変わった科もありました。

当院での研修生活は残り1ヶ月となりましたが、この恵まれた環境で最後までいろんなことを吸収して、4月からの大学での研修につなげたいと思います。



滋賀県難病従事者研修会 を開催しました。

2月16日に長浜赤十字病院において「第2回 神経難病従事者研修会」を開催しました。「神経難病医療・保健に従事する看護師・介護支援員等を対象に、広く神経難病への知識を深めると共に難病看護・介護の質的向上や情報交換を図る。」ことを目的に開催され、雪が舞う寒い中、約50名が参加されました。

「筋萎縮性側索硬化症の病態と臨床経過」と題して長浜赤十字病院 神経内科 平居 昭紀先生、「神経難病の排泄障害と福祉用具」として同病院看護師 山口 昌子氏より講義をしていただきました。また、2つの事例紹介「在宅介護と医療連携」「(神経難病患者における)救急との連携と看取り」や、「摂食嚥下評価と嚥下訓練の基礎」と題した実技も取り入れ、充実した研修会となりました。



ご案内

総合内科症例検討会

- ・3月6日(水)17時30分～(約1時間)
- ・9階A・B会議室
- 「頸部痛、発熱を来した高齢女性の2例」

NST 勉強会

- ・3月28日(木)17時30分～19時00分
 - ・9階A・B会議室
 - ・「術前化学療法を施行する胃がん患者の栄養管理」
外来通院手術部診療部長、外科医長兼務
加納正人
- ※筆記用具、電卓をお持ちください。

